

TASCAM

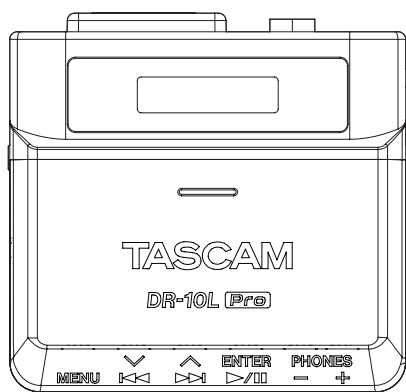
D01419801B

DR-10L Pro

32-Bit Float Field Recorder and Lavalier Mic

取扱説明書

V2.00



目次

1. はじめに	3	ローカットフィルターの設定.....	19
1-1. 本機の概要.....	3	リミッターの設定.....	20
1-2. 本書の表記.....	3	オートレベルの設定.....	20
1-3. 商標および著作権に関して.....	3	フェーズの設定.....	21
1-4. 別売品.....	4	7-2. 録音ファイルの設定.....	21
microSD カードについて.....	4	録音のファイル形式の設定.....	21
microSD カードの取り扱い上の注意.....	4	WAV 録音ファイルタイプの設定.....	22
microSD カードのフォーマットについて.....	4	サンプリング周波数の設定.....	22
USB ケーブル (通信用またはデータ転送用) について.....	4	量子化ビット深度の設定.....	23
モニター用機器について.....	4	7-3. 録音ファイルの名前の設定.....	23
1-5. 別売オプション品.....	4	ユーザー指定文字列の設定.....	23
Bluetooth アダプター AK-BT1 について.....	4	TEXT の設定.....	24
2. 各部の名称と働き	5	ファイル番号の設定.....	24
2-1. フロントパネル.....	5	ファイル形式について.....	24
2-2. ボトムパネル.....	5	7-4. 一般設定.....	25
2-3. サイドパネル.....	6	電源のオートオフの設定.....	25
2-4. トップパネル.....	6	バックライトの設定.....	25
3. 準備	7	SD カードのフォーマット.....	26
3-1. 電源について.....	7	電池の設定.....	26
単 4 形電池で使用する (別売).....	7	内蔵時計の設定.....	27
USB バスパワーで使用する.....	7	設定の初期化.....	27
3-2. マイクを接続する.....	8	8. メニュー項目一覧	28
3-3. microSD カード (別売) を入れる／取り出す.....	8	9. マーク機能	29
microSD カードを入れる.....	8	9-1. マークの種類.....	29
microSD カードを取り出す.....	8	9-2. タイムマーク.....	29
3-4. 電源をオンにする／オフにする.....	9	タイムマーク機能の設定.....	29
電源をオンにする.....	9	9-3. ピークマーク.....	29
電源の状態表示.....	9	ピークマーク機能の設定.....	29
電源をオフにする.....	9	9-4. BOF マーク.....	29
電源のオートオフ.....	9	9-5. 手動マーク.....	29
3-5. 日時を設定する.....	10	10. パソコンと USB 接続する	30
3-6. microSD カード (別売) をフォーマット (初期化) する.....	10	10-1. パソコンと接続する.....	30
3-7. モニター用機器を接続する.....	11	10-2. パソコンから microSD カードにアクセスする.....	30
3-8. Bluetooth アダプター (AK-BT1) を取り付ける (別売).....	12	USB マスストレージモードへ切り換える.....	30
4. 画面の説明	13	パソコンとファイルをやり取りする.....	30
4-1. ホーム画面.....	13	USB マスストレージモードを終了する.....	30
4-2. メニュー画面.....	14	11. リモートコントロール機能	31
メニュー画面の基本的な操作方法.....	14	11-1. リモートコントロール機能をオンにする.....	31
5. 録音／再生をする	15	11-2. 専用コントロールアプリをインストールする.....	31
5-1. 録音／停止をするには.....	15	11-3. 専用コントロールアプリと接続する.....	32
通常録音.....	15	12. タイムコード機能 (Bluetooth)	34
ワンタッチ録音.....	15	12-1. タイムコード機能をオンにする.....	34
録音停止.....	15	12-2. Atomos 社の対応製品とペアリングする.....	34
入力音声のモニター.....	15	12-3. Atomos 社の対応製品とのペアリングを解除する.....	34
録音データについて.....	16	12-4. 別の Atomos 社の対応製品とペアリングする.....	35
録音可能時間を確認するには.....	16	ペアリング情報を初期化する.....	35
5-2. 再生／スキップ／早戻し／早送りをするには.....	17	12-5. タイムコードを自走させながらリモートコントロールする.....	35
再生／停止.....	17	13. タイムコード機能 (LTC)	36
スキップ.....	17	13-1. 準備.....	36
早戻し／早送り.....	17	13-2. LTC 同期する (ジャムシンク).....	36
5-3. ヘッドホン端子の出力音量を調整するには.....	17	13-3. LTC タイムコード同期を解除する.....	37
6. ファイル操作	18	14. メッセージ	38
6-1. ファイル・フォルダーについて.....	18	15. トラブルシューティング	39
ファイル.....	18	16. 仕様	40
フォルダー.....	18	16-1. 定格.....	40
6-2. ファイルの削除.....	18	16-2. 入出力定格.....	40
7. 各種設定	19	16-3. オーディオ特性.....	40
7-1. 録音設定.....	19	16-4. 一般.....	40
録音レベルの設定.....	19	16-5. 寸法図.....	41

このたびは、TASCAM 製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

1-1. 本機の概要

- 軽量、コンパクトでウェアラブルな設計
- 32-bit float 録音とデュアル AD コンバータ技術を搭載。ささやき声から大声まで、高い解像度を保った録音が可能
- 録音時のメタデータ (WAV ファイルの BEXT、iXML) 記録に対応
- 大容量の microSDXC カード (最大 512GB) に対応
- 単 4 形電池 2 本で 15 時間以上 * の長時間駆動が可能
- ピンマイク (TM-10L) が付属
- 別売 Bluetooth® アダプター『AK-BT1』装着により、リモートコントロールアプリ『DR-10L Pro CONNECT』から最大 5 台 ** の同時制御・監視が可能。また、Atomos 社製品とのワイヤレスタイムコード同期に対応

* 電池持続時間は、お使いの電池・記録メディアや設定により変動する場合があります。

** 接続台数は周囲の環境や電波状況により変わる場合があります。

1-2. 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- ディスプレーに表示される反転表示部のことを「カーソル」と表記します。
- 「microSD / microSDHC / microSDXC メモリーカード」のことを「microSD カード」と表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を「OK」のように表記します。
- 本書の「iOS」の表記には、「iOS」および「iPadOS」を含んで表記しています。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

1-3. 商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- microSDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、ティアック株式会社は許可を受けて使用しています。
- Microsoft、Windows および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPad、iPadOS および iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- IOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android、Google Play は、Google Inc. の商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。したがって、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

1. はじめに

1-4. 別売品

本製品で録音する、再生音／モニター音を聴くためには以下の品目が必要です。別途お買い求めください。

- microSD カード
- 単 4 形電池 2 本
- モニター用機器 (ヘッドホン、イヤホンなど)

microSD カードについて

本機で録音、再生を行うために必要です。別途ご用意ください。
本機では、microSD カードを使って録音や再生を行います。
使用できる microSD カードは、microSD / microSDHC / microSDXC 規格に対応した microSD カードです。
本機にて動作が確認された microSD カードのリストが、TASCAM のウェブサイトに掲載されています。もしくは、タスカム カスタマーサポート (巻末に記載) までお問い合わせください。



TASCAM website

DR-10L Pro

https://tascam.jp/int/product/dr-10l_pro/docs

microSD カードの取り扱い上の注意

microSD カードは、精密にできています。
microSD カードの破損を防ぐため、取り扱いに当たって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を載せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- 録音、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しを行わないこと。
- 持ち運ぶ際、メモリーカードケースなどに入れて運ぶこと。

microSD カードのフォーマットについて

本機でフォーマットされた microSD カードは、録音時の性能向上のために最適化されています。そのため、本機で使用する microSD カードは本機でフォーマットを行ってください。
パソコンなどでフォーマットされた microSD カードは、本機での録音時にエラーになる可能性があります。

USB ケーブル (通信用またはデータ転送用) について

本機とパソコン (Windows / Mac) を接続する場合、USB ケーブルを使用します。

本機は USB Type-C 端子を装備しており、Type-A - Type-C ケーブルが付属しています。

お使いのパソコンの USB 端子に合った USB ケーブルをご用意ください。充電用 USB ケーブルは使用できません。

USB Type-A 端子を搭載するパソコンと接続する

付属の Type-A - Type-C ケーブルをご使用ください。

USB Type-C 端子を搭載するパソコンと接続する

市販の Type-C - Type-C ケーブルが必要です。

モニター用機器について

本機で再生音／モニター音を聴く場合に使用します。

本機は 1/8" (3.5mm) ステレオミニジャックのヘッドホン端子を装備しています。ヘッドホン、イヤホンなどのモニター用機器を別途ご用意ください。

1-5. 別売オプション品

以下の品目は別売オプション品です。用途に合わせて、お買い求めください。

- Bluetooth アダプター AK-BT1

Bluetooth アダプター AK-BT1 について

AK-BT1 を本体に装着することで、Atomos 社製品とのタイムコード同期やスマートフォン・タブレットからのワイヤレスリモートコントロール^{*}が可能になります。

^{*} リモートコントロールアプリ『DR-10L Pro CONNECT』から最大 5 台の同時制御・監視が可能です。

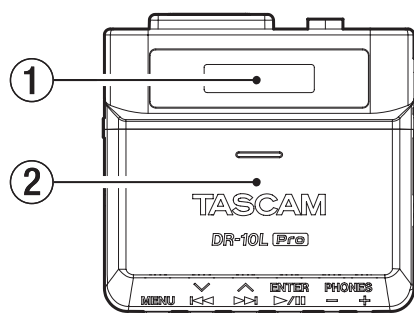
ご使用になったカセットテープ、CD、SD カード、USB フラッシュメモリー等の記録媒体 (以下「媒体」といいます) が原因で本機が故障した場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

※長年ご使用になっていない、または、すでに長時間使用された媒体、カビ・汚れ・ベタつき・折れ・捻じれなどが見られる媒体のご使用は、避けてください。

媒体に起因して生じた製品または媒体の破損、テープの巻き込み、データの喪失等につきましても、弊社では一切の責任を負いかねます。また、その他の逸失利益、間接的・派生的な損害、その他特殊な事情から生じた損害につきましても、同様です。

※万が一の場合に備えて、あらかじめデータのバックアップの作成等、お客様にてデータの保存や保護措置を講じられることをお勧めいたします。

2-1. フロントパネル



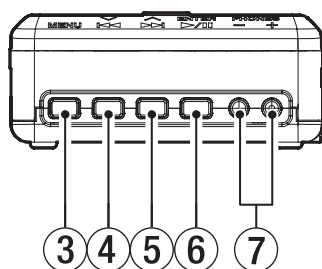
① ディスプレー

各種情報を表示します。

② 電池ケース蓋／電池ケース

本機の電源になる電池（単4形電池、2本）を収納するケースです。

2-2. ボトムパネル



③ MENU ボタン

- ホーム画面を表示中に押すと、メニュー画面が表示されます。
- メニュー画面を表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。
- 設定項目を表示中に押すと、メニュー画面に戻ります。

④ ◀▶[✓] ボタン

- 再生中またはファイルの途中で停止しているときに押すと、ファイルの先頭に戻ります。
ファイルの先頭では、1つ前のファイルにスキップします。
- 再生中に長押しすると、早戻しサーチを行います。
- メニュー画面を表示中に押すと、一つ前のメニュー項目を表示します。
- 設定項目を表示中に押すと、カーソルを左側に移動します。
- ファイル名を入力する際に、文字選択で使います。

⑤ ▶▶[へ] ボタン

- 再生中またはファイルの途中で停止しているときに押すと、次のファイルにスキップします。
- 再生中に長押しすると、早送りサーチを行います。
- メニュー画面を表示中に押すと、次のメニュー項目を表示します。
- 設定項目を表示中に押すと、カーソルを右側に移動します。
- ファイル名を入力する際に、文字選択で使います。

⑥ ▶/II[ENTER] ボタン

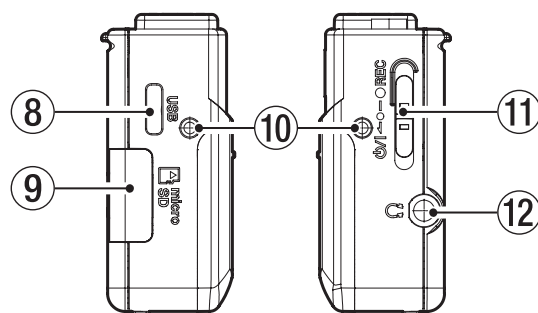
- ホーム画面を表示中に押すと、ファイルの再生を開始します。
- メニュー画面／設定項目を表示中に押すと、選択している項目を確定します。
- 確認のメッセージに対して確定するときに使います。

⑦ PHONES[+] / [-] ボタン

PHONE 端子から出力される音量を調節します。

2. 各部の名称と働き

2-3. サイドパネル



⑧ USB Type-C 端子

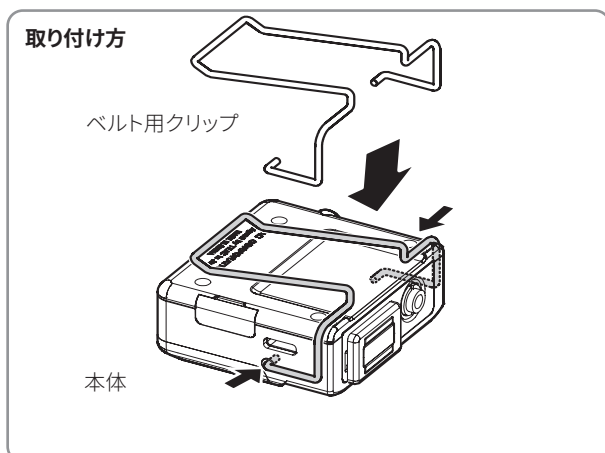
USB ケーブルを使って、パソコンと接続するための端子です。

⑨ microSD カードスロット

microSD カードの挿入／取り出しをします。

⑩ ベルトクリップ取り付け穴

付属のベルトクリップを左右の穴に取り付けます。



⑪ 電源/REC スイッチ

- 「電源」側にスライドさせた状態で1秒程度保持することで、電源のオン／オフの切り換えを行います。
- 「●REC」側にスライドさせた状態で1秒程度保持すると、録音を開始します。
- 録音中に「●REC」側にスライドさせた状態で1秒程度保持すると、録音を停止します。

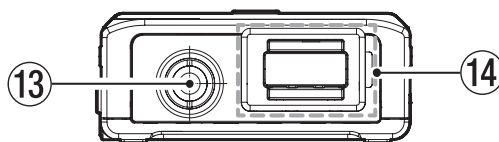
メモ

本機は、誤操作を防止するため、操作してから作動するまで一秒程度の遅れが生じます。

⑫ ヘッドホン端子 1/8" (3.5mm) ステレオミニジャック (Dual Mono Output)

ステレオヘッドホンを接続するステレオミニジャックです。左右には同じ信号が出力されます。(デュアルモノアウト)

2-4. トップパネル

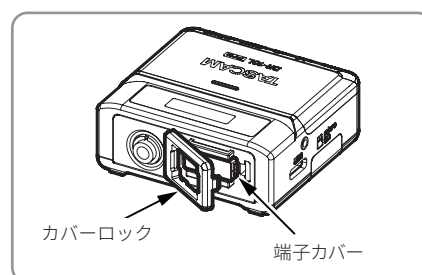


⑬ 入力端子 1/8" (3.5mm) mini TRS(スクリューロック付き)

マイクの 3.5mm 端子を接続する入力端子です。
(Tip : MIC (BIAS)、Ring : OPEN、Sleeve : GND)

⑭ Bluetooth アダプター接続端子 (端子カバー、カバーロック付き)

別売りの専用 Bluetooth アダプター (AK-BT1) を接続する端子です。



3-1. 電源について

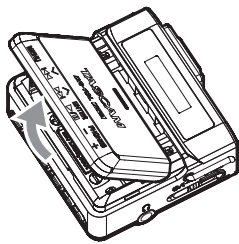
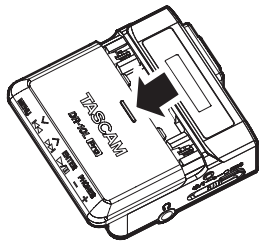
本機は、単 4 形電池 2 本 (別売) または付属の USB ケーブルを使って (USB バスパワー供給)、本機に電源を供給します。

メモ

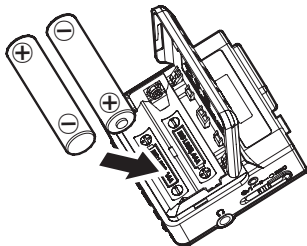
本機は、単 4 形アルカリ乾電池および単 4 形ニッケル水素電池、単 4 形リチウム乾電池も使用することができます。

単 4 形電池で使用する (別売)

1. 本機のリアパネルの電池ケース蓋を開ける。
電池ケース蓋は、軽く押しながらスライドさせ、ゆっくりと持ち上げて開けてください。



2. 電池ケース内の ⊕ と ⊖ の表示に合わせて、単 4 形電池を 2 本セットして、電池ケース蓋を閉めます。



メモ

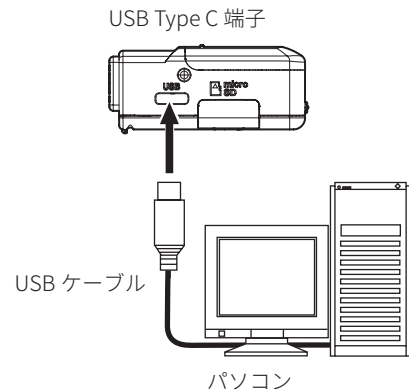
単 4 形電池で使用する時、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量を識別するために、電池の種類を設定してください。出荷時設定は ALKALINE になっています。設定の変更方法は、26 ページ「電池の設定」を参照してください。

注意

- 単 4 形マンガン乾電池は、使用できません。
- 本機で単 4 形ニッケル水素電池を充電することはできません。市販の充電器をご使用ください。

USB バスパワーで使用する

付属の USB ケーブルを使ってパソコンの USB 端子と接続してください。



メモ

- パソコンから電源の供給を受けるだけの場合、本機の設定は不要です。
- 本機の電源がオフのときに、USB バスパワーが供給されると自動的に本機の電源がオンになります。
- 電池と USB バスパワーの両方をセットすると、USB バスパワー供給が優先されます。

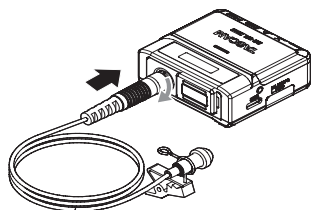
注意

- 本機に電池を入れず、USB バスパワーのみで動作しているときに、USB バスパワーの供給が途絶えると本機の電源がオフになります。動作中に電源がオフになると、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性があります。USB バスパワーで使用する場合でも、本機には電池をいれておくことを強く推奨します。
- パソコンとの接続は、USB ハブを経由せずに直接接続してください。
- USB モバイルバッテリーでの駆動は動作保証対象外です。

3. 準備

3-2. マイクを接続する

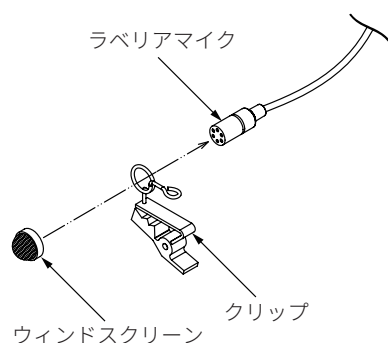
1. 付属のラベリアマイク（ピンマイク）の端子を本機の入力端子 1/8"(3.5mm) mini TRS(スクリューロック付) に接続する。



2. マイクの端子を接続後に端子のスクリューロックでコネクターをロックする。

メモ

- 付属のマイククリップ、ウィンドスクリーンは下図を参考に取り付けてください。

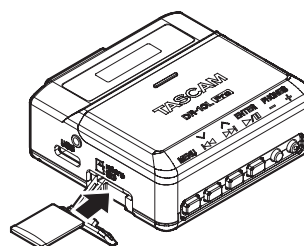


- 屋外など風が強い環境で収録する際はウィンドノイズの影響を受ける場合があります。市販の小型マイク用ウィンドスクリーンやウィンドジャマーを併用してください。
- 端子に無理な力を加えないでください。
- 付属のラベリアマイク（ピンマイク）以外を接続する場合は、接続するマイクのタイプに合わせてフェーズの設定をしてください。（→ 21 ページ「フェーズの設定」）
- 他社製のマイクを使用された場合、適切に録音できない場合があります。

3-3. microSD カード（別売）を入れる／取り出す

microSD カードを入れる

1. 左サイドパネルの microSD カードスロットのカバーを開ける。
2. microSD カードを下図の矢印方向にカチッと音がするまで差し込む。



メモ

- 新しい microSD カード、または本機以外でフォーマットされた microSD カードを挿入すると、フォーマットを促す画面が表示されます。（→ 10 ページ「microSD カード（別売）をフォーマット（初期化）する」）
- microSD カードが挿入されていない状態で本機の電源をオンにした場合は、ディスプレイに下記画面が表示されます。



- microSD カードの取り扱い上の注意については、下記をご参照ください。（→ 4 ページ「microSD カードの取り扱い上の注意」）

microSD カードを取り出す

microSD カードを取り出す場合は、microSD カードを軽く押し込んでから放すと手前に出てきます。

注意

録音／再生中、フォーマット中、パソコンで読み書き中は microSD カードを取り出さないでください。機器が壊れたり、データが失われたりする可能性があります。
microSD カードがアクセス中でないことを十分確認してから取り出してください。

メモ

電源がオンの状態で microSD カードを取り出した場合はディスプレイに下記画面が表示されます。



3-4. 電源をオンにする／オフにする

⚠ 注意

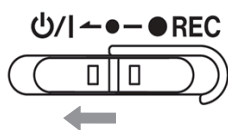


ヘッドホンを耳に付けたまま、電源のオン／オフや、ヘッドホンプラグの抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

電源をオンにする

電源がオフ時に、**⏻/←●●●REC** スイッチを「**⏻/**」側にスライドさせ、1 秒程度保持する。

TASCAM（起動画面）が表示され、本機が起動します。



本機が起動後、ホーム画面が表示されます。（→ 13 ページ「ホーム画面」）



メモ

- 初回電源投入時および電池がない状態で、しばらく置いたため内蔵時計がリセットされたときには、起動画面が表示された後に、日時を設定する画面が表示されます。（→ 10 ページ「日時を設定する」）
- 新しい microSD カード、また本機以外でフォーマットされた microSD カードを挿入した状態で電源をオンにすると、起動画面が表示された後に、フォーマットを促す画面が表示されます。（→ 10 ページ「microSD カード（別売）をフォーマット（初期化）する」）
- 本機の電源がオフのときに、USB バスパワーを供給すると自動的に本機の電源がオンになります。

電源の状態表示

本機は電源がオンのときに、ディスプレイの右端に電源状態のアイコンを表示します。



電池使用時は、電池アイコンを表示します。

電池残量に応じて、目盛りが 8 段階で表示されます。



目盛り表示がなくなると  が点滅し、電池切れのためにまもなく電源がオフになります。

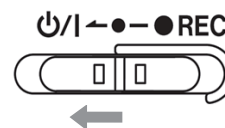
USB バスパワー供給時は、電池残量に応じた目盛り表示 と  を交互に表示します。

本機に電池が入っていない場合は、 と  を交互に表示します。

電源をオフにする

電源がオン時に、**⏻/←●●●REC** スイッチを「**⏻/**」側にスライドさせ、1 秒程度保持する。

本機の電源がオフになり、ディスプレイが消灯します。



注意

- 電源をオフにするときは、必ず **⏻/←●●●REC** スイッチで行ってください。
- 電源がオンのときに電池を外したり、USB バスパワーで使用しているときに USB ケーブルを抜いたりすると録音データや設定などが全て失われます。なお、失われたデータや設定は、復活することができません。

メモ

USB バスパワー使用時はディスプレイは消灯せず、下記画面表示となります。



USB ケーブルを取り外すと、電源がオフになり、ディスプレイが消灯します。

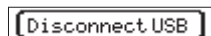
電源のオートオフ

電池使用のとき、メニュー画面の 15:POWER SAVE 項目の設定が ON の場合、停止状態の最後の操作から約 10 分経過すると自動的に電源がオフになります。

出荷時設定は OFF になっています。設定の変更方法は、25 ページ「電源のオートオフの設定」を参照してください。

メモ

USB バスパワー使用時はディスプレイは消灯せず、下記画面表示となります。



USB ケーブルを取り外すと、電源がオフになり、ディスプレイが消灯します。

3. 準備

3-5. 日時を設定する

初回電源投入時および電池がない状態で、しばらく置いたため内蔵時計がリセットされたときには、起動画面が表示された後に、日時を設定する画面が表示されます。

00-01-01 00:00

YY-MM-DD hh:mm

YY：(年)、MM：(月)、DD：(日)、hh：(時)、mm：(分)

1. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って数字を変更し、▶/■[ENTER] ボタンを使ってカーソルを移動する。
▶/■[ENTER] ボタンを押す度に、左から右に YY→MM→DD→hh→mm とカーソルが移動します。

23-01-01 00:00

2. 一番右の mm で ▶/■[ENTER] ボタンを押すと、日時を確定して本機が再起動する。

23-01-02 12:34

メモ

- カーソルは手前の項目（右から左へ）に移動できません。設定をやり直したい場合は、日時を確定する前に、本機の電源を入れ直してください。
- 再度日時を設定したい場合は、27 ページ「内蔵時計の設定」を参照してください。

3-6. microSD カード（別売）をフォーマット（初期化）する

新しい microSD カード、または本機以外でフォーマットされた microSD カードを挿入すると、フォーマットを促す画面が表示されます。

Format Error

または

File Not Found

本機で microSD カードを使えるようにするために、本機でフォーマットする必要があります。

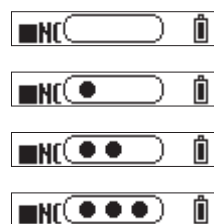
注意

フォーマットを行うと microSD カードの全てのデータが消去されます。データをパソコンにバックアップしてからフォーマットを行ってください。

Format Error が表示された場合

SD カードのフォーマット状態が本機に適合しない場合に 표시됩니다。

1. ▶/■[ENTER] ボタンを押す。
2. 「Format Card?」の表示で、▶/■[ENTER] ボタンを押す。
3. 「Are You Sure?」の表示で、▶/■[ENTER] ボタンを押す。フォーマットが開始されます。



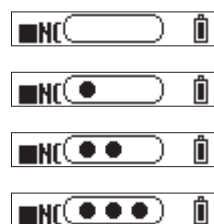
フォーマットが完了すると下記画面が表示されます。



File Not Found が表示された場合

本機で使用するシステムファイル構成に相違がある場合に 표시됩니다。

1. ▶/■[ENTER] ボタンを押す。
2. 「Make System File?」の表示で、▶/■[ENTER] ボタンを押す。
3. 「Are You Sure?」の表示で、▶/■[ENTER] ボタンを押す。フォーマットが開始されます。



フォーマットが完了すると下記画面が表示されます。



メモ

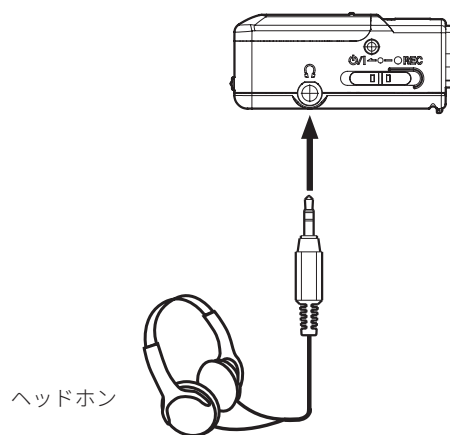
- フォーマットを促す画面が表示されない場合や、本機でフォーマットした microSD カードを再度フォーマットする場合は、26 ページ「SD カードのフォーマット」を参照してフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行わない場合は、確認メッセージの表示中に microSD カードを取り出してください。ホーム画面が表示されます。



- microSD カードの挿入については、8 ページの「3-3. microSD カード（別売）を入れる／取り出す」をご参照ください。

3-7. モニター用機器を接続する

本機で再生音／モニター音を聴く場合は、ヘッドホン端子にモニター用機器を接続してください。



⚠ 注意



ヘッドホンを耳に付けたまま、電源のオン／オフや、ヘッドホンプラグの抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

3. 準備

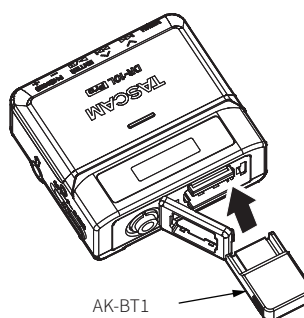
3-8. Bluetooth アダプター (AK-BT1) を取り付ける (別売)

本機を Bluetooth 機器と接続するには、別売りの Bluetooth アダプター AK-BT1 を取り付けます。

1. 本体の Bluetooth アダプター接続端子のカバーロックを外す。

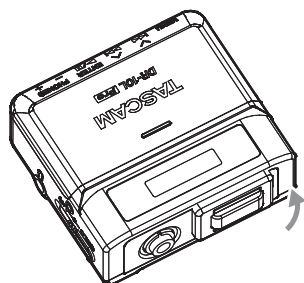


2. 端子カバーを抜いた後、AK-BT1 を本体に挿入する。



端子が本体ディスプレイ側になるよう差し込みます。

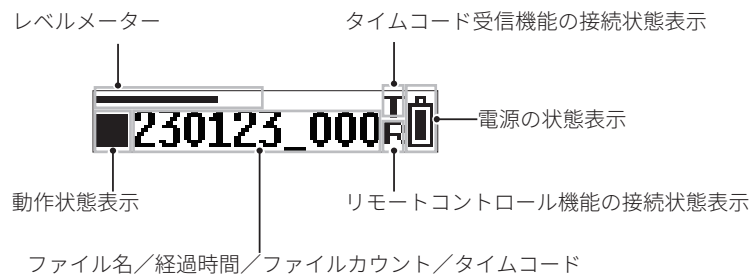
3. カバーロックを元に戻す。



Bluetooth での接続方法、使用方法については、31 ページの「11. リモートコントロール機能」、および 34 ページの「12. タイムコード機能 (Bluetooth)」を参照してください。

4-1. ホーム画面

本機が起動するとホーム画面が表示されます。



レベルメーター

入力音のレベルを表示します。

動作状態表示

表示	動作状態
■	停止中
⏸	一時停止
▶	再生中
▶▶	早送り中
◀◀	早戻し中
●	録音中
▶▶	次のファイルの先頭にスキップ時
◀◀	現在または手前のファイルの先頭にスキップ時

ファイル名／経過時間／ファイルカウント／タイムコード

表示	動作状態
ファイル名* [230123_0001.wav]**	停止時 トラックチェンジ時 録音／再生開始時
経過時間 [hh:mm:ss] (時:分:秒)	録音／再生中
ファイルカウント [0001 / 0020] 現在のファイル／合計ファイル数	下記の操作時に 1 秒間表示されます。 ● 停止中のファイルスキップ時 ● 録音／再生からの停止時
タイムコード*** [hh:mm:ss:ff] (時:分:秒:フレーム)	タイムコード有効時

* microSD カードに本機で再生可能なファイルが保存されていない場合は、[NO FILE] 表示となります。microSD カードが挿入されていない場合は、[NO CARD] 表示となります。

** ファイル名は、ホーム画面を表示したときに一度だけスクロールしてファイル形式（拡張子）まで表示します。

*** タイムコード表示への切り換えは、▶/⏸[ENTER] ボタンの長押しで行います

タイムコード受信機能の接続状態表示

表示	動作状態
T 点滅	タイムコード機器との接続待機中
T 点滅（1 秒周期）	タイムコードを受信中
t 点灯	タイムコード自走中

電源の状態表示

表示	動作状態
 目盛り 1 ドットずつ 8 段階	電池使用時 目盛りがなくなると点滅表示します。
 交互表示	USB バスパワー使用時

リモートコントロール機能の接続状態表示

表示	動作状態
R 点灯	専用コントロールアプリとリモート接続時
R 点滅	専用コントロールアプリとの接続待機中

4. 画面の説明

4-2. メニュー画面

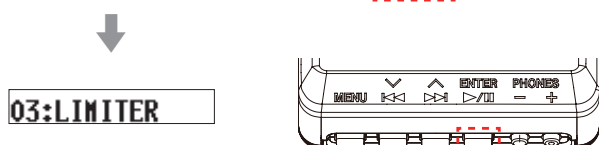
MENU ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。
メニュー画面では、本機の各種設定を変更することができます。
メニュー項目一覧は 28 ページの「8. メニュー項目一覧」を参照してください。

メニュー画面の基本的な操作方法

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。



2. ◀◀[▽] ボタンと ▶▶[△] ボタンを使って設定するメニュー項目を選択し、▶/||[ENTER] ボタンを押して設定項目を表示する。



3. ◀◀[▽] ボタンと ▶▶[△] ボタンを使って、設定値/設定項目を変更する。



4. ▶/||[ENTER] ボタンを押して設定を確定し、メニュー画面に戻る。



5. 必要に応じて、手順 2. ～ 4. を繰り返して各項目を設定する。

6. 設定が終了したら、MENU ボタンを押してホーム画面に戻る。

03:LIMITER



NO FILE

メモ

- メニュー項目を最後まで表示すると、次の表示は最初のメニュー項目に戻ります。

01:REC LEVEL

02:LOW CUT

(中略)

28:FILE DELETE

01:REC LEVEL

[28:FILE DELETE が最後のメニュー項目の例]

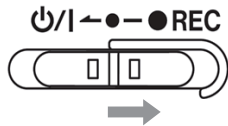
- 設定項目が複数あり、1 行で表示しきれない場合は、下記画面の様に項目の端に矢印を表示します。◀◀[▽] ボタンと ▶▶[△] ボタンを使って、設定項目を変更してください。

16bit >> << 24bit >> << 32-bit float

5-1. 録音／停止をするには

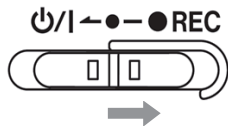
通常録音

電源がオンの状態から 電源/再生 ← ● REC スイッチを「●REC」側にスライドさせて1秒程度経過すると録音を開始します。



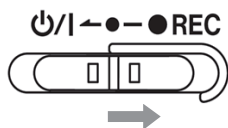
ワンタッチ録音

本機は、電源がオフの状態からでもワンタッチで録音が可能です。電源がオフの状態から 電源/再生 ← ● REC スイッチを「●REC」側にスライドさせた状態で1秒程度保持すると、TASCAM（起動画面）が表示され起動後に録音を開始します。

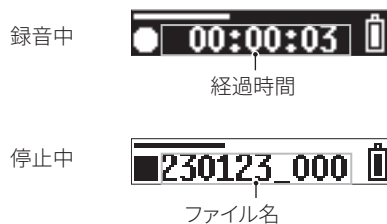


録音停止

録音中に「●REC」側へスライドさせて1秒程度経過すると録音を停止します。



録音中／停止中は、下記の表示になります。



メモ

- 本機は、誤操作を防止するため、操作してから作動するまで一秒程度の遅れが生じます。
- 録音中は、録音停止、PHONE 端子の出力音量変更、録音可能時間表示のみ操作可能です。それ以外の操作をすると、ディスプレイにポップアップメッセージ「KEY LOCKED!」が1秒程度表示されます。
- 録音中にファイルサイズが4GBに達すると、自動的に現在のファイルへの録音を停止し、新しいファイルに録音を続けます。(トラックインクリメント)
- 録音を適切な音量で行うために、マイクの方法や音源からの距離を調節する、または録音レベルの設定を変更してください。(→ 19 ページ「録音レベルの設定」)

入力音声のモニター

本機は、録音中／停止中の入力音声のモニターが可能です。録音レベル、ローカットフィルター、リミッターなどの機能の効果を確認することができます。各機能の設定は、メニュー画面から個々に設定してください。詳細は、19 ページの「7-1. 録音設定」を参照してください。モニター時の音量を調整したい場合は、PHONES[+] / [-] ボタンを押してヘッドホン端子から出力される音量を調節してください。詳細は、17 ページの「5-3. ヘッドホン端子の出力音量を調整するには」を参照してください。

5. 録音／再生をする

録音データについて

録音したデータは、オーディオファイルとして microSD カードに保存されます。ファイルの名前は、以下の規則で名前付けされます。

ユーザー指定文字列 ファイル形式
└──────────┘ └──┘
YYMMDD_0001.wav
 └──┘
 ファイル番号
[出荷設定時の例]

録音可能時間を確認するには

本機の停止中または録音中に MENU ボタンを長押しすると、挿入されている microSD カードの残りの録音可能時間が 1 秒程度表示されます。



ユーザー指定文字列

ユーザーが指定した文字列をファイルの名前に付けます。

ヒント

ドラマ・舞台の収録などで、演者毎に固有の名前をユーザー指定文字列に設定すると、ファイルの管理や編集時に識別がしやすくなります。

出荷時設定は「DATE (6 桁の日付)」です。

設定の変更方法は、23 ページ「ユーザー指定文字列の設定」を参照してください。

ファイル番号

記録した順番をファイル名に付けます。

出荷時設定は「0001」です。

設定の変更方法は、24 ページ「ファイル番号の設定」を参照してください。

ファイル形式

録音ファイルの録音形式をファイル名に付けます。

.wav	録音ファイルが WAV 形式の場合
.mp3	録音ファイルが MP3 形式の場合

出荷時の録音形式は WAV 形式に設定されています。

録音形式の変更方法は、21 ページ「録音のファイル形式の設定」を参照してください。

メモ

録音時にユーザー指定文字列とファイル番号が同じものが既に存在する場合は、ファイル番号の後に "[---]" が付けられます。(--- は 001 から始まる 3 桁の数字)

例: YYMMDD_0001[001].wav

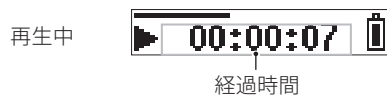
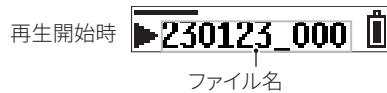
5-2. 再生／スキップ／早戻し／早送りをするには

再生／停止

ホーム画面で停止中に ▶/⏸[ENTER] ボタンを押すと、現在ディスプレイに表示されているファイルの再生を始めます。

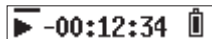
もう一度ボタンを押すと停止します。

再生開始時／再生中は、下記の表示になります。



メモ

- 再生中に MENU ボタンを長押しすると、再生中ファイルの残量時間が表示されます。



- 再生の対象となるファイルは、microSD カードの SOUND にあるファイル（.wav または .mp3）のみです。パソコンなどでフォルダーを作成し、そのフォルダーにファイルを作成しても再生の対象とはなりません。

スキップ

再生中またはファイルの途中で停止しているときに ◀◀[✓] ボタンを押すと、ファイルの先頭に戻ります。

ファイルの先頭では、1 つ前のファイルにスキップします。

再生中またはファイルの途中で停止しているときに ▶▶[へ] ボタンを押すと、次のファイルにスキップします。

早戻し／早送り

再生中に ◀◀[✓] ボタンを長押しすると、早戻しサーチ再生を開始します。◀◀[✓] ボタンを長押しした状態を保持すると、サーチスピードが速くなります。

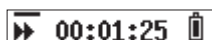
◀◀[✓] ボタンを放すと再生に戻ります。

再生中に ▶▶[へ] ボタンを長押しすると、早送りサーチ再生を開始します。▶▶[へ] ボタンを長押しした状態を保持すると、サーチスピードが速くなります。

▶▶[へ] ボタンを放すと再生に戻ります。

メモ

サーチ中は ◀◀ / ▶▶ が表示されます。



5-3. ヘッドホン端子の出力音量を調整するには

PHONES[+] / [-] ボタンを押して PHONE 端子から出力される音量を調節してください。

ボタンを押すと、音量が1段階変化します。

ボタンを長押しすると、音量が連続的に変化します。

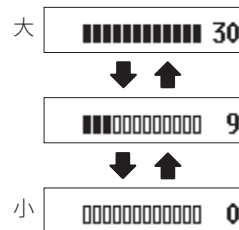
最小値: 0

最大値: 30

出荷時は 8 に設定されています。

メモ

音量はディスプレイに表示されます。ボタン操作の 1 秒後に元の画面に戻ります。



6. ファイル操作

6-1. ファイル・フォルダーについて

ファイル

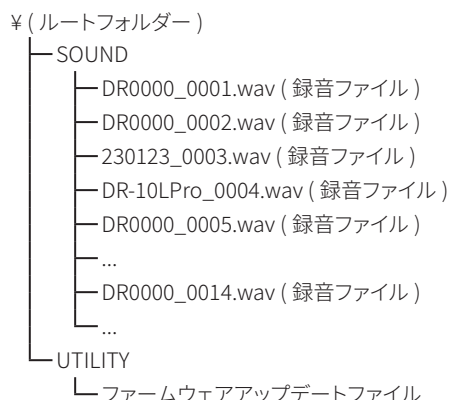
録音したデータは、オーディオファイルとして microSD カードの SOUND フォルダーに保存されます。

フォルダー

microSD カードを本機でフォーマットすると SOUND、UTILITY フォルダーが作成されます。

フォルダーツリーの例

本機で使用する microSD カード内のフォルダーツリーの例を図示します。



- ファイル数の上限は 1000 個です。
- 録音ファイル名は例です。

6-2. ファイルの削除

本機で録音ファイルを削除するには、メニュー項目の 28:FILE DELETE で行います。

現在ディスプレイに表示されているファイルを削除します。

注意

削除したファイルは元に戻すことができません。削除するファイルを間違えないように注意して操作してください。

1. ホーム画面を表示中に ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って、削除したいファイルをディスプレイに表示する。

■230123_000 0

2. MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

3. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って 28:FILE DELETE を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

28:FILE DELETE

4. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って YES を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

Sure? NO/YES

ファイルの削除を実行します。

削除完了後、メニュー画面に戻ります。

ホーム画面に戻ると、ディスプレイには次のファイルが表示されます。次のファイルがない場合は、一つ前のファイルが表示されます。

ヒント

本機をパソコンと USB 接続すると、パソコンから本機の microSD カードにアクセスしてファイルを削除することができます。パソコンとの接続方法は、30 ページの「10. パソコンと USB 接続する」を参照してください。

7-1. 録音設定

録音レベルの設定

録音ファイルに記録される音声信号レベルを設定します。

設定項目（初期値：下線付き）

HIGH / HIGH-MID / MID / MID-LOW / LOW

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 01:REC LEVEL を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

01:REC LEVEL

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

HIGH >>

<< HIGH-MID >>

<< MID >>

<< MID-LOW >>

<< LOW >>

ホーム画面でレベルメーターを確認し、メーターが中央を少し超える程度になるように設定を変更してください。

メモ

メニュー画面の 04:AUTO LEVEL 項目の設定が ON の時に 01:REC LEVEL 項目の設定を変更すると 04:AUTO LEVEL 項目の設定は OFF になります。

その時、ポップアップメッセージ「AUTO LVL Cancel」が1秒程度表示されます。

オートレベル機能を使用する場合は、01:REC LEVEL 項目の設定完了後に、再度 04:AUTO LEVEL 項目を ON に設定してください。

ローカットフィルターの設定

マイク入力のローカットフィルターのカットオフ周波数を設定します。選択した周波数以下の音声をカットします。

ローカットフィルターを使用すると、空調機やプロジェクターなどによるノイズや耳障りな風切り音などのノイズを低減することができます。

ノイズに合わせて、ローカットフィルターのカットオフ周波数を設定してください。

設定項目（初期値：下線付き）

OFF / 40Hz / 80Hz / 120Hz / 220Hz

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 02:LOW CUT を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

02:LOW CUT

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

OFF >>

<< 40Hz >>

<< 80Hz >>

<< 120Hz >>

<< 220Hz >>

7. 各種設定

リミッターの設定

リミッターは、突発的な過大入力による歪みを防ぐ機能です。
リミッター機能のオン／オフを設定します。

設定項目（初期値：下線付き）
OFF / ON

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 03:LIMITER を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

03:LIMITER

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

OFF/ON

メモ

入力音が大きすぎるとリミッターをオンにしても歪んでしまう場合があります。その際は、メニュー画面の 01:REC LEVEL 項目の設定を変更して録音のレベルを下げるか、音源からマイクを離してください。

オートレベルの設定

入力音が小さいときは大きく、大きいときは小さくなるように録音レベルを自動で調節する機能です。

オートレベル機能のオン／オフを設定します。
オンにすると、入力音声に合わせて入力レベルが自動で調整されます。

設定項目（初期値：下線付き）
OFF / ON

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 04:AUTO LEVEL を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

04:AUTO LEVEL

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

OFF/ON

メモ

メニュー画面の 04:AUTO LEVEL 項目の設定が ON の時に 01:REC LEVEL 項目の設定を変更すると 04:AUTO LEVEL 項目の設定は OFF になります。

その時、ポップアップメッセージ「AUTO LVL Cancel」が1秒程度表示されます。

オートレベル機能を使用する場合は、01:REC LEVEL 項目の設定完了後に、再度 04:AUTO LEVEL 項目を ON に設定してください。

フェーズの設定

付属のマイク以外を使用する場合は、接続するマイクによって、正の信号が出力されるタイプと、負の信号が出力されるタイプがあるので、接続するマイクのタイプに合わせて設定します。

設定項目（初期値：下線付き）

DEFAULT / INVERT

DEFAULT：付属のマイク使用時、正音圧が入った時に正の信号として録音します。

INVERT：付属のマイク使用時、正音圧が入ったときに負の信号（位相の反転した信号）として録音します。

メモ

付属のマイクは負の信号が出力されるタイプです。DEFAULT の設定で、正の信号として録音されます。

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 05:PHASE を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

05:PHASE

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

DEFAULT >>

<< INVERT

7-2. 録音ファイルの設定

録音のファイル形式の設定

録音ファイルの録音形式を設定します。

設定項目（初期値：下線付き）

WAV / MP3H / MP3L

WAV：録音ファイルが WAV 形式になります。

MP3H：録音ファイルが MP3 形式（192kbps）になります。

MP3L：録音ファイルが MP3 形式（128kbps）になります。

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 06:FILE FORMAT を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

06:FILE FORMAT

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

WAV/MP3H/MP3L

メモ

MP3 形式の録音ファイルには、サンプリング周波数の設定 44.1kHz / 48kHz、録音ファイルタイプの設定 MONO（モノラル） / POLY（ステレオ）が反映されます。POLY（ステレオ）の場合 Lch / Rch は同じデータが録音されます。

7. 各種設定

WAV 録音ファイルタイプの設定

WAV 録音ファイルのファイルタイプを設定します。

設定項目（初期値：下線付き）

MONO / POLY

MONO：モノラルファイルとして扱います。

POLY：ステレオファイルとして扱います。（Lch／Rchは同じデータ）

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. **◀[✓]/▶[△]** ボタンを使って 07:FILE TYPE を選択し、**▶/■[ENTER]** ボタンを押す。

07:FILE TYPE

3. **◀[✓]/▶[△]** ボタンを使って設定項目を選択し、**▶/■[ENTER]** ボタンを押す。

MONO/POLY

サンプリング周波数の設定

録音時のサンプリング周波数を設定します。

設定項目（初期値：下線付き）

44.1kHz / 48kHz

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. **◀[✓]/▶[△]** ボタンを使って 08:REC FORMAT を選択し、**▶/■[ENTER]** ボタンを押す。

08:REC FORMAT

3. **◀[✓]/▶[△]** ボタンを使って設定項目を選択し、**▶/■[ENTER]** ボタンを押す。

44.1kHz/48kHz

量子化ビット深度の設定

録音時の量子化ビット深度を設定します。

設定項目（初期値：下線付き）

16bit / 24bit / 32-bit float

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 09:BIT DEPTH を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

09:BIT DEPTH

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

16bit >>

<< 24bit >>

<< 32-bit float >>

32-bit float

本機は、32-bit float 録音に対応しています。32-bit float で録音したファイルは、収録後のデータ編集において下記の特長があります。

- 小さな音を、元の音質を保ったまま音量を上げることが可能です。
- 聴感上クリップしている音も、音量を下げることで、クリップのない音に復元可能です。

注意

アナログでクリップした際は、音量を下げた場合でもクリップしてしまいます。

7-3. 録音ファイルの名前の設定

本機で録音したデータは、以下の規則でファイルに名前が付けられます。

ユーザー指定文字列 ファイル形式
 └──┬──┘ └──┬──┘
 Y Y M M D D _ 0 0 0 1 . w a v
 └──┬──┘
 ファイル番号
 [出荷設定時の例]

ユーザー指定文字列の設定

ファイル名につける文字列の形式を設定することができます。

設定項目（初期値：下線付き）

TEXT / DATE / UNIT NAME

TEXT：任意の 6 文字をファイル名に付けます。

（例）DR0000_0001.wav

DATE：6 桁の日付をファイルの名前に付けます。

（例）110101_0001.wav

UNIT NAME：機器の個体名をファイルの名前に付けます。

（例）DR-10LPro_0001.wav

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 12:FILE NAME を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

12:FILE NAME

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

TEXT >>

<< DATE >>

<< UNIT NAME >>

ヒント

- ドラマ・舞台の収録などで、演者毎に固有の名前を TEXT または UNIT NAME に設定すると、ファイルの管理や編集時に識別がしやすくなります。
- DATE を選択した場合、本体内時計の日時を基にファイル名が付けられます。あらかじめ時計を合わせておくと、録音日時を正確に記録できます。

メモ

- TEXT の文字は、メニュー画面の 13:TEXT 項目で設定します。（→ 24 ページ「TEXT の設定」）
- UNIT NAME は、事前に専用コントロールアプリで設定しておく必要があります。設定方法は専用コントロールアプリのマニュアルを参照してください。
UNIT NAME 未設定時は、「DR-10LPro」をファイル名に付けます。

7. 各種設定

TEXT の設定

ユーザー指定文字列に任意の6文字を設定することができます。

設定項目（初期値：下線付き）
DR0000

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 13:TEXT を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

13:TEXT

3. ▶/■[ENTER] ボタンを使ってカーソルを移動する。
▶/■[ENTER] ボタンを押す度に、左から右に1文字ずつカーソルが移動します。

[DR0000]

4. カーソル位置で ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って文字を変更する。
文字は、英数の他に、右記の記号!#\$%&'()+,-./:;=@[]^_`{ }~が使用可能です。

5. 一番右の文字となる位置で ▶/■[ENTER] ボタンを押す。
ファイル名を確定してメニュー画面に戻ります。

メモ

- 設定した文字をファイル名に付けるには、メニュー画面の 12:FILE NAME 項目を、TEXT に設定しておく必要があります。
- 文字列を5文字以下、7文字以上に設定することはできません。

ヒント

本機を複数台使用する場合に、機器毎にどの機器で録音したファイルなのか識別用ファイル名を設定しておくことでファイル編集する際に便利です。

（例）

	TEXT 設定の 文字列	ファイル名
1 台目	DR0001	[DR0001_0001.wav]
2 台目	DR0002	[DR0002_0001.wav]
3 台目	DR0003	[DR0003_0001.wav]
⋮	⋮	⋮
10 台目	DR0010	[DR0010_0001.wav]

ファイル番号の設定

今回のファイル作成時から適用されるファイル番号を設定します。

設定項目（初期値：下線付き）
0001

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 16:FILE NUMBER を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

16:FILE NUMBER

3. ▶/■[ENTER] ボタンを使ってカーソルを移動する。
▶/■[ENTER] ボタンを押す度に、左から右に1文字ずつカーソルが移動します。

[0001]

4. カーソル位置で ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って番号を変更する。

5. 一番右の桁となる位置で ▶/■[ENTER] ボタンを押す。
ファイル番号を確定してメニュー画面に戻ります。

設定したファイル番号は次の録音から有効になります。

メモ

- 録音時にファイル名とファイル番号が同じものが既に存在する場合は、ファイル番号の後に "[---]" が付けられます。(--- は 001 から 999 までの3桁の数字)
- 専用コントロールアプリによる METADATA 機能がオンの場合は、16:FILE NUMBER を選択して ▶/■[ENTER] ボタンを押したときに Not Available と表示されます。

ファイル形式について

録音ファイルの録音形式をファイル名に付けます。

.wav：録音ファイルが WAV 形式の場合
.mp3：録音ファイルが MP3 形式の場合

出荷時の録音形式は WAV 形式に設定されています。
録音形式の変更方法は、21 ページ「録音のファイル形式の設定」を参照してください。

7-4. 一般設定

電源のオートオフの設定

電池使用のときに、停止状態の最後の操作から約 10 分経過すると自動的に電源がオフになる機能です。オン／オフを設定します。

設定項目（初期値：下線付き）
OFF / ON

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 15:POWER SAVE を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

15:POWER SAVE

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

OFF/ON

メモ

USB バスパワー使用時はディスプレイは消灯せず、下記画面表示となります。

Disconnect USB

USB ケーブルを取り外すと、電源がオフになり、ディスプレイが消灯します。

バックライトの設定

ディスプレイのバックライトの輝度制御を設定します。

設定項目（初期値：下線付き）
ALWAYS / 5sec / 30sec

ALWAYS：常時点灯
5sec：最後の操作から 5 秒点灯
30sec：最後の操作から 30 秒点灯

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 17:BACKLIGHT を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

17:BACKLIGHT

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

ALWAYS >>

<< 5sec >>

<< 30sec >>

7. 各種設定

SD カードのフォーマット

SD カードのフォーマットを行います。

設定項目（初期値：下線付き）

QUICK / ERASE

QUICK：クイックフォーマットを実行します。

ERASE：イレースフォーマットを実行します。

注意

- フォーマットを行うと microSD カードの全てのデータが消去されます。データをパソコンにバックアップしてからフォーマットを実行してください。
- フォーマットは、パソコンとの USB バスパワー接続状態で駆動しているときに行うか、電池の残量が十分な状態で行ってください。

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って 18:FORMAT SD を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

18:FORMAT SD

3. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

QUICK/ERASE

4. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って YES を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

Sure? NO/YES

フォーマットが開始されます。



フォーマットが完了すると下記画面が表示されます。



メモ

- イレースフォーマットを行うと、繰り返し使用で低下した書き込み性能が改善する可能性があります
- イレースフォーマットはメモリーのエラーをチェックしながらフォーマットを行うため、クイックフォーマットと比べて多くの時間がかかります。
- 新しい microSD カード、または本機以外でフォーマットされた microSD カードを挿入すると、フォーマットを促す画面が表示されます。10 ページの「Format Error が表示された場合」または「File Not Found が表示された場合」を参照してフォーマットを行ってください。

電池の設定

使用する電池の種類を設定します。

この設定は、電池の残量表示や正常動作に必要な最低残量の識別に使用されます。

設定項目（初期値：下線付き）

ALKALINE / Ni-MH / LITHIUM

ALKALINE：単 4 形アルカリ乾電池

Ni-MH：単 4 形ニッケル水素電池

LITHIUM：単 4 形リチウム乾電池

注意

電池の設定と使用する電池の種類が合っていないと、短時間の使用でも電池残量がなくなると判断して電源が切れてしまう場合があります。必ず電池に合わせた設定でご使用ください。

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って 19:BATTERY を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

19:BATTERY

3. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

ALKALINE>>

<< Ni-MH >>

<< LITHIUM

内蔵時計の設定

本機の内蔵時計を設定します。

設定項目（初期値：00-01-01 00:00）
YY-MM-DD hh:mm

00-01-01 00:00	
YY	年
MM	月
DD	日
hh	時
mm	分

メモ

お買い上げ後、はじめて電源をオンにしたとき、または日時設定がリセットされているとき、日時を設定する画面が表示されます。（→ 10 ページ「日時を設定する」）

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 20:DATE/TIME を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

20:DATE/TIME

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って数字を変更し、▶/■[ENTER] ボタンを使ってカーソルを移動する。
▶/■[ENTER] ボタンを押す度に、左から右に YY→MM→DD→hh→mm とカーソルが移動します。

23-01-01 00:00

4. 一番右の mm の位置で ▶/■[ENTER] ボタンを押す。
日時を確定してメニュー画面に戻ります。

メモ

- カーソルは手前の項目（右から左へ）に移動できません。
- 設定の途中で HOME ボタンを押すと、メニュー画面に戻り、設定途中の変更内容はキャンセルされます。

設定の初期化

本機を工場出荷時の設定に初期化することができます。

設定項目（初期値：下線付き）
NO / YES

NO：メニュー画面に戻ります。

YES：設定の初期化を実行します。初期化完了後、メニュー画面に戻ります。

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 21:SYSTEM INIT を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

21:SYSTEM INIT

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って YES を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

Sure? NO/YES

初期化が開始されます。

Sur IS

Sur IS

Sur IS

Sur IS

初期化が完了するとメニュー画面に戻ります。

21:SYSTEM INIT

8. メニュー項目一覧

MENU ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー項目は以下の通りです。

メニュー項目	設定項目（初期値：下線付き）または表示内容	機能説明	録音中 （リモート操作）
01:REC LEVEL	HIGH / HIGH-MID / <u>MID</u> / MID-LOW / LOW	録音ファイルに記録される音声信号レベルを設定します。	
02:LOW CUT	<u>OFF</u> / 40Hz / 80Hz / 120Hz / 220Hz	マイク入力ローカットフィルタ機能のオン／オフを設定します。	○
03:LIMITER	<u>OFF</u> / ON	リミッター機能のオン／オフを設定します。	○
04:AUTO LEVEL	<u>OFF</u> / ON	オートレベル機能のオン／オフを設定します。	
05:PHASE	<u>DEFAULT</u> / INVERT	接続するマイクのタイプに合わせて位相を設定します。	
06:FILE FORMAT	<u>WAV</u> / MP3H / MP3L	録音ファイル形式を設定します。	
07:FILE TYPE	<u>MONO</u> / POLY	WAV 録音時のファイルタイプを設定します。	
08:REC FORMAT	44.1kHz / <u>48kHz</u>	サンプリング周波数を設定します。	
09:BIT DEPTH	16bit / 24bit / <u>32-bit float</u>	量子化ビット深度を設定します。	
10:TIME MARK	<u>OFF</u> / 5min / 10min / 15min / 30min / 60min	タイムマーク機能のオン／オフを設定します。	
11:PEAK MARK	<u>OFF</u> / ON	ピークマーク機能のオン／オフを設定します。	
12:FILE NAME	TEXT / <u>DATE</u> / UNIT NAME	本機で録音するファイルの名前の形式を設定します。	
13:TEXT	<u>[DR0000]</u>	録音時のファイル名に付ける文字列を設定します。	
14:UNIT NAME	Not Available	本機に設定された個体名を表示します。 UNIT NAME が未設定の場合は Not Available と表示されます。	
15:POWER SAVE	<u>OFF</u> / ON	電池使用時のオートオフ機能のオン／オフを設定します。	
16:FILE NUMBER	<u>[0001]</u> または Not Available	次のファイル作成時から適用されるファイル番号を設定します。 専用コントロールアプリによる METADATA 機能がオンの場合は Not Available と表示されます。	
17:BACKLIGHT	<u>ALWAYS</u> / 5sec / 30sec	ディスプレイのバックライトの輝度制御を設定します。	
18:FORMAT SD	<u>QUICK</u> / ERASE	本機に挿入した microSD カードを初期化します。	
19:BATTERY	<u>ALKALINE</u> / Ni-MH / LITHIUM	使用する電池の種類を設定します。	
20:DATE/TIME	YY-MM-DD hh:mm	内蔵時計を設定します。	
21:SYSTEM INIT	Sure? <u>NQ</u> / YES	本機のさまざまな設定を初期設定状態に戻すことができます。	
22:VER INFO	V.-- B.--	本機のファームウェアバージョンを表示します。	
23:AK-BT1 VER	***-*** または Not Available	本機に装着した AK-BT1 のソフトウェアバージョンを表示します。 未装着時は Not Available と表示されます。	
24:CARD READER	—	本機の USB 接続時のモードを USB マスストレージモードへ切り換えます。	
25:BLUETOOTH	<u>OFF</u> / <u>REMOTE</u> / TIMECODE	Bluetooth 接続によるリモートコントロール機能、タイムコード機能を切り換えます。	
26:TC FORGET	Sure? <u>NQ</u> / YES または Not Available	Bluetooth 接続によるタイムコード機能のペアリング情報を初期化します。 ペアリング情報が未保存で、初期化不要なときは Not Available と表示されます。	
27:BT ID	10LPro-*****	***** は本機のシリアルナンバーが表示されます。 専用コントロールアプリ初期状態でデバイス探索時にアプリ上で表示される機器名です。	
28:FILE DELETE	Sure? <u>NQ</u> / YES	現在ディスプレイに表示されているファイルを削除します。	
29:LTC SYNC	—	本機の入力端子を使用して、タイムコードジェネレーターと LTC 同期を行います。	

メモ

録音中（リモート操作）欄が○のメニューは、録音中に専用コントロールアプリのリモート機能で設定を変更することができます。操作方法は専用コントロールアプリのマニュアルを参照してください。

本機は、録音中にマークをつけることができます。
つけたマークの情報は録音ファイルに保存されます。

9-1. マークの種類

マークの種類とそのマークが付けられる条件は、次の通りです。

タイムマーク

設定した録音時間を経過したとき

ピークマーク

入力信号がピークレベルを超えたとき

BOF マーク

録音中に microSD カードへの書き込みエラーが発生したとき

手動マーク

手動で付けたマーク（専用コントロールアプリ使用時のみ）

9-2. タイムマーク

設定した録音時間を経過したときに自動的にマークをつけることができます。

タイムマーク機能の設定

タイムマーク機能は、メニュー画面の 10: TIME MARK 項目で設定します。マークをつける時間を設定します。

設定項目（初期値：下線付き）

OFF / 5min / 10min / 15min / 30min / 60min

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 10:TIME MARK を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

10:TIME MARK

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

OFF >>

<< 5min >>

<< 10min >>

<< 15min >>

<< 30min >>

<< 60min >>

9-3. ピークマーク

録音時の入力信号がピークレベルを超えたときに自動でマークをつけることができます。

録音終了後にピークレベルを超えた部分を探すために利用できます。

ピークマーク機能の設定

ピークマーク機能は、メニュー画面の 11: PEAK MARK 項目で設定します。ピークマーク機能のオン/オフを設定します。

設定項目（初期値：下線付き）

OFF / ON

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 11:PEAK MARK を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

11:PEAK MARK

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って設定項目を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

OFF/ON

9-4. BOF マーク

録音中に microSD カードへの書き込みエラーが発生したとき、自動的に BOF マークがつけられます。

BOF マークがつけられた箇所は、音声の不連続になっています。

9-5. 手動マーク

手動マークは専用コントロールアプリを使うと、任意の位置にマークをつけることができます。

操作方法については、専用コントロールアプリのマニュアルを参照してください。

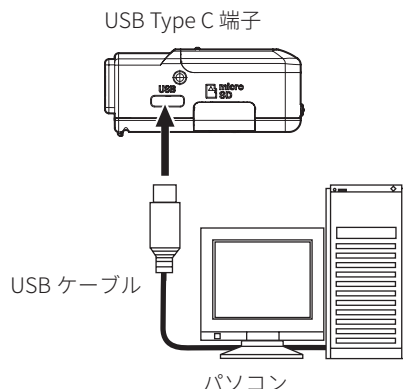
10. パソコンと USB 接続する

本機をパソコンと接続すると、USB バスパワーでパソコンから電源を供給できます。

また、設定を USB マスストレージモードに切り換えると、本機に挿入している microSD カードにアクセスできます。

10-1. パソコンと接続する

下図のように、パソコンと本機を付属の USB ケーブルを使って接続してください。



USB バスパワーが供給されると、電源の状態表示が、電池残量に応じた目盛り表示と🔋を交互に表示されます。

本機に電池が入っていない場合は、🔋と🔌を交互に表示されます。

メモ

- パソコンから電源の供給を受けるだけの場合、本機の設定は不要です。
- 本機の電源がオフのときに、USB バスパワーが供給されると自動的に本機の電源がオンになります。
- 電池と USB バスパワーの両方をセットすると、USB バスパワー供給が優先されます。

注意

- 本機に電池を入れず、USB バスパワーのみで動作しているときに、USB バスパワーの供給が途絶えると本機の電源がオフになります。動作中に電源がオフになると、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性があります。USB バスパワーで使用する場合でも、本機には電池をいれておくことを強く推奨します。
- パソコンとの接続は、USB ハブを経由せず直接接続してください。

10-2. パソコンから microSD カードにアクセスする

本機の USB 接続時のモードを USB マスストレージモードへ切り換えます。

USB マスストレージモードへ切り換える

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀[✓]/▶[へ] ボタンを使って 24:CARD READER を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

24:CARD READER

CARD READER 画面が表示されます。

CARD READER

USB 接続中は、下記画面が交互に表示されます。

CARD READER ⇄ Push MENU to Exit

パソコンで本機が認識されると、本機に挿入している microSD カードにアクセスできるようになります。

パソコンとファイルをやり取りする

1. パソコン上の「DR-10LPro（または UNIT NAME）」ドライブをクリックする。
「SOUND」フォルダーと「UTILITY」フォルダーが表示されます。
2. パソコンからファイルを取り込むには、パソコンの任意の音声ファイルを「SOUND」フォルダーにドラッグ＆ドロップする。
3. microSD カードからパソコンにファイルを取り込むには、「SOUND」フォルダー内の音声ファイルをパソコンの任意のフォルダーにドラッグ＆ドロップする。

メモ

- UNIT NAME が設定された機器で microSD カードをフォーマットした場合、microSD カードのボリュームラベルには UNIT NAME がつけられます。UNIT NAME が設定されていない場合は、ボリュームラベルが DR-10LPro となります。パソコン上からはボリュームラベルがドライブ名として表示されます。
- 本機で録音、再生できるファイルは、wav(BWF 含む) と mp3 です。
- USB マスストレージモード接続中に、本機に挿入した microSD カードを取り出す場合は、パソコン側で指定された手順に従ってください。

USB マスストレージモードを終了する

[CARD READER] と [Push MENU to Exit] が交互に表示されているときに、MENU ボタンを押すとパソコンとの接続を解除してホーム画面に戻ります。

230123_000 🔋

11. リモートコントロール機能

本機の Bluetooth 機器接続端子に別売りの Bluetooth アダプター (AK-BT1) を接続すると、専用コントロールアプリ DR-10L Pro CONNECT を使ったスマートフォン・タブレットからのワイヤレスリモートコントロールが可能になります。

DR-10L Pro CONNECT では最大 5 台の DR-10L Pro を同時コントロール可能です。

また、DR-10L Pro CONNECT には最大 99 個までの DR-10L Pro の情報を登録可能です。

メモ

- 本機の専用コントロールアプリと Atomos 社の対応製品を同時に使用する事はできません。
- Bluetooth アダプター (AK-BT1) は、12 ページ「Bluetooth アダプター (AK-BT1) を取り付ける (別売)」を参照して、事前に取り付けてください。
- Bluetooth アダプター (AK-BT1) の見通し通信距離は約 10m です。(通信距離は目安です。周囲の環境や電波状況により通信距離は変わる場合があります。)

11-1. リモートコントロール機能をオンにする

リモートコントロール機能は、メニュー画面の 25:BLUETOOTH 項目で設定します。

設定項目 (初期値: 下線付き)

OFF / REMOTE / TIMECODE

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 25:BLUETOOTH を選択し、▶/||[ENTER] ボタンを押す。

25:BLUETOOTH

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って REMOTE を選択し、▶/||[ENTER] ボタンを押す。

<< REMOTE >>

専用コントロールアプリとの接続待機中は、ホーム画面の右側に R アイコンが点滅します。

230123_000R

11-2. 専用コントロールアプリをインストールする

1. スマートフォン/タブレット端末をインターネットに接続する。

メモ

インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

2. Android 端末の場合は Google Play から、iOS 端末の場合は App Store から「DR-10L Pro CONNECT」を検索し、ダウンロードおよびインストールする。

11. リモートコントロール機能

11-3. 専用コントロールアプリと接続する

1. スマートフォン／タブレット端末の Bluetooth 機能を有効にする。

注意

- スマートフォン／タブレット端末の Bluetooth デバイス一覧画面からはペアリングを実行しないでください。ペアリングしてしまった場合は、ペアリングを解除してください。必ず DR-10L Pro CONNECT を起動して接続を行ってください。
- Android 端末の場合、端末の位置情報の設定を「オン」にして、DR-10L Pro CONNECT の「位置情報の権限」を「許可」または「使用時のみ許可」に設定してください。

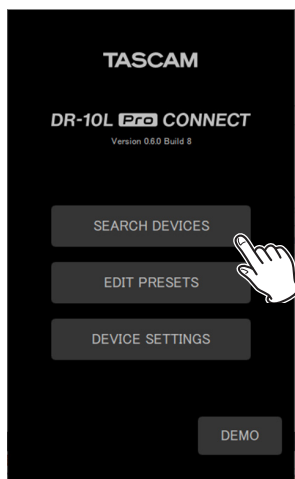
メモ

操作方法は、お使いの端末の取扱説明書をご覧ください。

2. スマートフォン／タブレット端末を操作して、DR-10L Pro CONNECT を起動する。

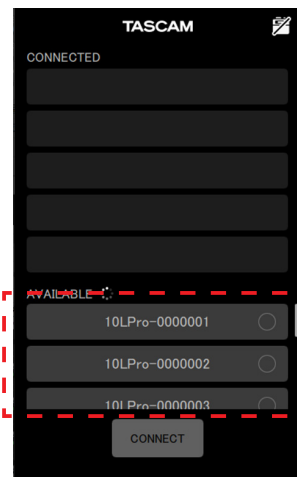


3. TOP 画面で SEARCH DEVICES をタップする。



スマートフォン／タブレット端末の画面

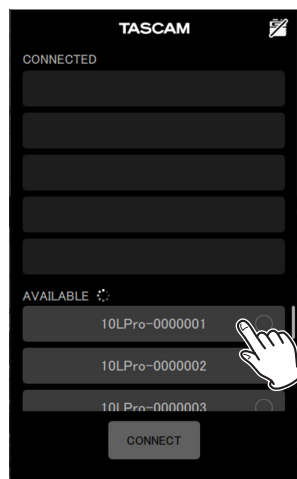
接続可能な機器が AVAILABLE リストに表示されます。



メモ

- CONNECTED リストはアプリが記憶しているため、次回起動時には前回の状態で表示されます。
- デバイス情報が 99 台ある場合、新たな機器の発見はしません。DEVICE SETTINGS 画面で機器情報を削除することで、新たな機器を発見することができます。削除方法は DR-10L Pro CONNECT のマニュアルを参照してください。

4. 接続したい機器をタップする。

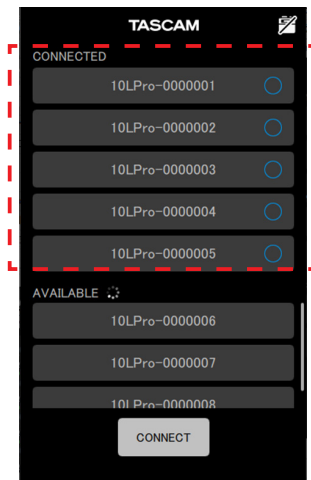


CONNECTED リストに追加されます。

メモ

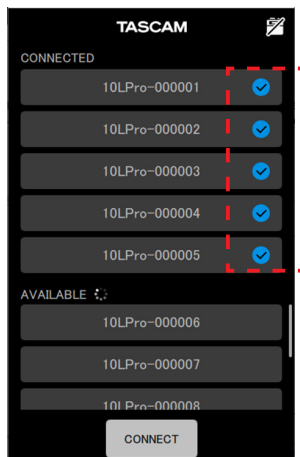
- CONNECTED リストに追加できる機器は 5 台までです。
- CONNECTED リストに表示されている機器をタップすると AVAILABLE リストに戻ります。

11. リモートコントロール機能



5 台の機器をリスト追加したときの表示例

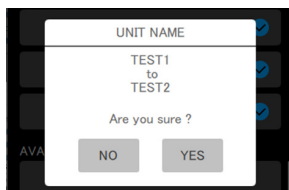
CONNECTED リストに追加されると、接続待機状態となり、自動的に接続を試みます。
接続が完了するとチェックが表示されます。



メモ

DEVICE SETTINGS 画面で UNIT NAME が設定されていると、接続が完了したときに UNIT NAME 情報を機器に登録します。

- 機器に別の UNIT NAME が保存されている場合は、下記のポップアップが表示されます。



アプリの UNIT NAME が TEST1 で、DR-10L Pro 本体の UNIT NAME が TEST2 のときの例

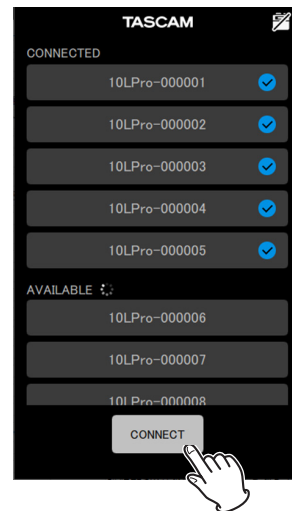
NO	アプリの UNIT NAME: TEST1 を DR-10L Pro 本体に設定します。
YES	DR-10L Pro 本体の UNIT NAME: TEST2 をアプリに設定します。

- アプリで UNIT NAME の設定がなく、DR-10L Pro 本体にのみ UNIT NAME が設定されている場合は、DR-10L Pro 本体の UNIT NAME をアプリの設定に登録します。

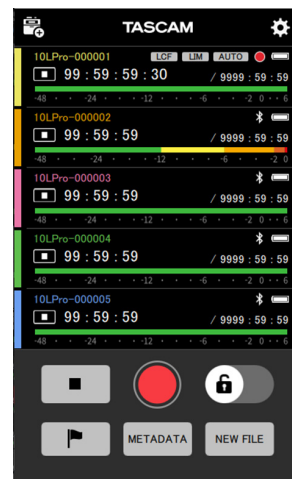
ヒント

ドラマ・舞台の収録などで、演者毎に固有の名前を UNIT NAME に設定すると、ファイルの管理や編集時に識別がしやすくなります。

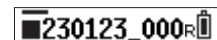
5. CONNECT ボタンをタップする。



ホーム画面が表示されます。



専用コントロールアプリとの接続中は、ホーム画面の右側の **R** アイコンが点灯します。



専用コントロールアプリの操作方法については、専用コントロールアプリのマニュアルを参照してください。

メモ

- ペアリングした端末で音声モニターすることはできません。本機のヘッドホン端子をご使用ください。
- 本機がメニュー表示中や設定情報を読み込み中のときは、専用コントロールアプリ側での対象機器の表示も設定情報を読み込み中となります。

12. タイムコード機能 (Bluetooth)

本機の Bluetooth 機器接続端子に別売りの Bluetooth アダプター (AK-BT1) を接続すると、Atomos 社の対応製品と接続して、タイムコードを受信することができます。
受信されたタイムコードは本機の WAV(BWF) 形式の録音ファイルに記録されます。このタイムコード情報により、複数の機器で作成された映像／音声ファイルの位置合わせが容易になります。

メモ

- 録音形式を MP3 に設定している場合は、録音ファイルにタイムコードを記録する事はできません。
- 本機の専用コントロールアプリと Atomos 社の対応製品とのタイムコード同期を同時に使用する事はできません。
- Bluetooth アダプター (AK-BT1) は、12 ページ「Bluetooth アダプター (AK-BT1) を取り付ける (別売)」を参照して、事前に取り付けてください。

12-1. タイムコード機能をオンにする

タイムコード機能は、メニュー画面の 25:BLUETOOTH 項目で設定します。

設定項目 (初期値: 下線付き)

OFF / REMOTE / TIMECODE

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って 25:BLUETOOTH を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

25:BLUETOOTH

3. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って TIMECODE を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

<< TIMECODE

Bluetooth アダプター (AK-BT1) が装着されている場合、切り換え処理に移行します。

<< []

<< [●] []

<< [●●] []

<< [●●●] []

切り換え後、Atomos 社の対応製品の探索を行います。

< Searching.

< Searching. .

< Searching. . .

< MENU → Cancel

メモ

- Bluetooth アダプター (AK-BT1) が装着されていない場合は、切り換え処理は行われません。Bluetooth アダプター (AK-BT1) を本機に装着すると、ホーム画面で本機の動作が停止中のときに、切り換え処理が行われます。
- 探索中に MENU ボタンを押すと、探索をキャンセルしてメニュー画面に戻ります。この場合、25:BLUETOOTH の設定はオフになります。
- ペアリングせずに本体の電源がオフになった場合は、25:BLUETOOTH の設定はオフになります。

12-2. Atomos 社の対応製品とペアリングする

本機のタイムコード機能をオンにすると周辺の Atomos 社の対応製品を探して自動的にペアリングします。

接続処理中は T アイコンが点滅します。

ペアリングが完了すると CONNECTED の表示となり、接続されている Atomos 社の対応製品から受信したタイムコードを確認することができます。

接続完了後は T アイコンが点灯します。

タイムコード表示への切り換えは、▶/■[ENTER] ボタンの長押しで行います。

メモ

- ペアリングせずに本体の電源がオフになった場合は、25:BLUETOOTH の設定はオフになります。
- ワンタッチ録音機能 (→ 15 ページ「ワンタッチ録音」) を使って本体の電源がオンになったときは、ワンタッチ録音終了後に、Bluetooth 機器の探索を行います。
- 接続後に切断され、自走中となった場合は T アイコンが点灯します。

12-3. Atomos 社の対応製品とのペアリングを解除する

ペアリングの解除は、メニュー画面の 25:BLUETOOTH の設定項目でオフを選択してください。

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って 25:BLUETOOTH を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

25:BLUETOOTH

3. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使ってオフを選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

OFF >>

本機のタイムコード機能がオフになり、Atomos 社の対応製品とのペアリングが解除されます。

12-4. 別の Atomos 社の対応製品とペアリングする

ペアリング済の Atomos 社の対応製品から別の Atomos 社の対応製品に接続する場合は、ペアリング情報を初期化してください。初期化することで、別の機器とのペアリング設定ができるようになります。

ペアリング情報を初期化する

ペアリング情報の初期化は、メニュー画面の 26:TC FORGET で行います。

設定項目（初期値：下線付き）

NO / YES

NO：メニュー画面に戻ります。

YES：初期化を実行します。初期化完了後、メニュー画面に戻ります。接続中の場合は切断されます。

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って 26:TC FORGET を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

26:TC FORGET

3. ◀◀[▽]/▶▶[△] ボタンを使って YES を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

Sure? NO/YES

ペアリング情報が初期化されます。

メモ

ペアリング情報が未保存で、初期化が不要なときは Not Available と表示されます。MENU ボタンを押して、メニュー画面に戻ってください。

12-5. タイムコードを自走させながらリモートコントロールする

本機は、最後に受信したタイムコードで自走しながらリモートコントロールアプリを使用することができます。

1. タイムコード機能をオンにして、Atomos 社の対応製品とタイムコード同期する。（→ 34 ページ「タイムコード機能をオンにする」）
（→ 34 ページ「Atomos 社の対応製品とペアリングする」）
2. Atomos 製品の対応製品とのタイムコード同期を解除する。（→ 34 ページ「Atomos 社の対応製品とのペアリングを解除する」）
このとき、本機は最後にした受信したタイムコード情報をもとに自走状態になります。

メモ

自走は本機のクロック精度で行います。

3. 専用コントロールアプリ DR-10L Pro CONNECT と接続する。（→ 32 ページ「専用コントロールアプリと接続する」）

以上の手順を踏むことで、最後に受信したタイムコードで自走しながらリモートコントロールができるようになります。

13. タイムコード機能 (LTC)

本機の入力端子を使用して、タイムコードジェネレーターと LTC 同期が可能です。

受信されたタイムコードは本機の WAV(BWF) 形式の録音ファイルに記録されます。このタイムコード情報により、複数の機器で作成された映像／音声ファイルの位置合わせが容易になります。

メモ

- 録音形式を MP3 に設定している場合は、録音ファイルにタイムコードを記録する事はできません。
- 同期可能な LTC のフレームレートは“23.98F”、“24.00F”、“25.00F”、“29.97ND”、“29.97DF”、“30.00ND”、“30.00DF”です。
- 業務用カメラなど 50fps 以上のハイフレームレートの機器と接続した場合には、本機で約分可能なフレームレートに換算します。(例: 50 fps の場合は、25.00F で受信します)

13-1. 準備

タイムコードジェネレーターの LTC 出力と本機の入力端子をステレオミニケーブルで接続してください。

メモ

タイムコードジェネレーターに出力レベルの切り替え機能がある場合は『LTC』にしてください。

⚠ 注意

タイムコードジェネレーターと接続中は、絶対に LTC 信号をイヤホン・ヘッドホンでモニターをしないでください。接続中は非常に大きなレベルの信号が入力されていますので、モニターをすると聴覚に異常をきたす危険性があります。

13-2. LTC 同期する (ジャムシンク)

LTC 同期 (ジャムシンク) は、メニュー画面の 29:LTC SYNC から行います。

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 29:LTC SYNC を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

29:LTC SYNC

タイムコードジェネレーターの LTC 信号を受け取り、ジャムシンクします。

Syncing.

Syncing..

Syncing...

MENU→Cancel

ジャムシンクが完了すると、同期したフレームレートの候補が表示されます。

29.97DF >>

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使ってタイムコードジェネレーターのフレームレートと同じフレームレートを選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

メモ

- 同期後は、本機の入力端子からタイムコードジェネレーターをはずし、マイクを接続してください。
- 同期後は本機のクロック精度でタイムコードが自走します。(精度の目安: 24 時間で約 1 フレームの誤差が生じます。)
- 同期が完了すると、本機のホーム画面に **📶** アイコンが表示されます。
- LTC 入力がない場合や入力レベルが低いなどの理由で、30 秒経過しても同期ができない場合、ポップアップメッセージ「LTC FAILED」が表示されます。タイムコードジェネレーターの設定や、本機との接続を確認し、もう一度同期を試みてください。
- 同期中に MENU ボタンを押すと、同期をキャンセルしてメニュー画面に戻ります。この場合、同期前のタイムコード情報を引き継ぎます。
- Atomos 社製品とのタイムコード同期 (Bluetooth) と併用はできません。LTC 同期前に Atomos 製品とタイムコード同期していた場合、このタイムコード情報を破棄し、25:BLUETOOTH の設定は OFF になります。
- ホーム画面のタイムコード表示への切り換えは、▶/■[ENTER] ボタンの長押しで行います。
- 本機の電源をオフにすると、同期後に自走していたタイムコード情報は破棄されます。再起動時にジャムシンクしなおしてください。

13-3. LTC タイムコード同期を解除する

同期中のタイムコードを解除するには、メニュー画面の 26:TC FORGET で行います。

設定項目 (初期値：下線付き)

NO / YES

NO：メニュー画面に戻ります。

YES：初期化を実行します。初期化完了後、メニュー画面に戻ります。

1. ホーム画面を表示中に MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示する。

01:REC LEVEL

2. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って 26:TC FORGET を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

26:TC FORGET

3. ◀◀[✓]/▶▶[へ] ボタンを使って YES を選択し、▶/■[ENTER] ボタンを押す。

Sure? NO/YES

14. メッセージ

以下にポップアップメッセージの一覧表を示します。

メッセージ	内容と対処方法
Battery Empty	電池の残量がありません。電池を交換してください。
Card Error	microSD カードを正常に認識できません。microSD カードを交換してください。
Card Full	microSD カードの残容量がありません。ファイルを削除／移動したりして容量を確保するか、カードを交換してください。
File Full	録音ファイルの総数が制限値（1000）を超えました。ファイルを削除／移動して容量を確保するか、カードを交換してください。
File Not Found	ファイルが見つからないか、ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを確認してください。 または、本機を使用するために必要なシステムファイルがありません。 このメッセージが表示されている状態で ►/■[ENTER] ボタンを押すと、システムファイルが作られます。
File Protected	読み取り専用ファイルのため、削除できません。
Format Error	microSD カードが正常にフォーマットされていないか、microSD カードが壊れている可能性があります。 このメッセージは、USB 接続したパソコンでフォーマットした場合や未フォーマットのカードを挿入した場合にも表示されます。 フォーマットは、必ず本機で行ってください。 microSD カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で ►/■[ENTER] ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。 フォーマットが実行されると microSD カード内のデータは、全て消去されます。
Invalid Card	異常なカードの可能性があります。microSD カードを交換してください。
Invalid SysFile	本機を使用するために必要なシステムファイルが正常ではありません。 このメッセージが表示されている状態で ►/■[ENTER] ボタンを押すと、新しいシステムファイルが作られます。
Max File Size	ファイルのサイズが指定のサイズを超えました。 あるいは、フォルダーとファイルの総数が制限値（1000 個）の時に録音時間が 24 時間を超えました。

MBR Error	microSD カードが正常にフォーマットされていないか、microSD カードが壊れている可能性があります。 microSD カードを交換するか、このメッセージが表示されている状態で ►/■[ENTER] ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。 フォーマットが実行されると microSD カード内のデータは、全て消去されます。
No Card	microSD カードが挿入されていません。 録音可能な microSD カードを挿入してください。
No PB File	microSD カードに再生可能ファイルがありません。あるいは、ファイルが壊れている可能性があります。
Non-Supported	ファイル形式がサポート対象外です。取り扱い可能なファイル形式については、40 ページの「録音再生フォーマット」をご覧ください。
Write error	microSD カードへの書き込みが間に合いませんでした。これにより音声の不連続になり、ノイズが発生します。 この不連続点には、BOF マークが付けられます。 録音は、継続します。 ►/■[ENTER] ボタンを押してポップアップを閉じてください。
Card slow	microSD カードへの書き込み性能が低下しています。 microSD カードへの書き込みが間に合わず、発生した不連続点には BOF マークが付いています。 BOF マーク付近の音声を確認してください。 イレースフォーマットを実行するか、microSD カードを交換してください。 ►/■[ENTER] ボタンを押してポップアップを閉じて、⏻/⏮●●REC スイッチをスライドさせて録音を停止してください。
Can't Save Data	これらのエラーが出た場合は、本機の電源を入れ直してください。 電源を切ることができない場合は、電池を取り外す、また USB バスパワー使用時は USB ケーブルを外してください。 これらのエラーが頻繁に発生する場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 (-- は数字が入ります)
Device Error	
File Error	
Not Continued	
Player Error	
Writing Failed	
Sys Rom Err	
System Err --	

15. トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の確認を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

電源がオンにならない

電池が正しくセットされているか確認してください。

電源が自動的に切れてしまう

電源のオートオフ機能を OFF に設定してください。ON / OFF は、MENU ボタン > 15:POWER SAVE 項目で設定できます。

microSD カードを認識しない

microSD カードがしっかりと挿入されているか確認してください。

録音できない

microSD カードに十分な空き容量があることを確認してください。ファイル総数が 1000 ファイルに達すると録音できなくなります。

電池の残量が正しく表示されない

電池残量は電池タイプに合わせて監視しているため、使用している電池のタイプに合わせてください。

Bluetooth アダプター AK-BT1 のインジケータが点灯しない

本機には、Bluetooth アダプター AK-BT1 のインジケータを点灯させる機能はありません。

16.仕様

16-1. 定格

記録メディア

microSD カード (64MB ~ 2GB)
microSDHC カード (4GB ~ 32GB)
microSDXC カード (64GB ~ 512GB)

録音再生フォーマット

WAV	44.1/48kHz、16/24-bit Mono/Poly (BWF フォーマット)、 32-bit float
MP3	44.1k/48kHz、128k/192kbps (録音) 32 ~ 320kbps (再生)

16-2. 入出力定格

アナログ入力

マイク端子

コネクター	1/8" (3.5mm) mini TRS JACK (スクリューロック付)
最大入力レベル	-11 d BV
マイク入力ゲイン	7.5dB ~ 38dB
入力インピーダンス	2K Ω 以上

同梱マイク

マイク感度	-42dBV/Pa
最大入力音圧	115dB SPL

アナログ出力

ヘッドホン端子

コネクター	1/8" (3.5mm) STEREO PHONE (音声出力は DUAL MONO 出力)
最大出力	10mW + 10mW (歪率 0.1% 以下、32 Ω 負荷時)

16-3. オーディオ特性

IN → SD データ

周波数特性	20Hz-20kHz +0/-1dB
歪率	0.01% (1kHz、-21dBV 入力時)
ダイナミックレンジ	105dB 以上

16-4. 一般

マイクバイアス電圧

2.3V

電源

単 4 形電池 × 2 本 (アルカリ乾電池、ニッケル水素電池またはリチウム乾電池、別売)
パソコンからの USB バスパワー

消費電力 (電池)

0.3W (最大時)

消費電流 (USB バスパワー)

0.1A (最大時)

電池持続時間 (連続使用時)

アルカリ乾電池 (EVOLTA) 使用時

	条件	持続時間	備考
録音時	Bluetooth 接続 なし	約 16.5 時間	フォーマット: WAV, 48kHz、 32-bit float
	Bluetooth 接続 あり	約 16 時間	マイクを接続 ヘッドホン未接続 リミッター: オフ ファイルタイプ: MONO

ニッケル水素電池 (eneloop) 使用時

	条件	持続時間	備考
録音時	Bluetooth 接続 なし	約 11.5 時間	フォーマット: WAV, 48kHz、 32-bit float
	Bluetooth 接続 あり	約 10.5 時間	マイクを接続 ヘッドホン未接続 リミッター: オフ ファイルタイプ: MONO

リチウム乾電池 (Energizer ULTIMATE LITHIUM) 使用時

	条件	持続時間	備考
録音時	Bluetooth 接続 なし	約 24.5 時間	フォーマット: WAV, 48kHz、 32-bit float
	Bluetooth 接続 あり	約 23 時間	マイクを接続 ヘッドホン未接続 リミッター: オフ ファイルタイプ: MONO

メモ

- 測定条件は、JEITA CP-2905 に準じます。
- 電池持続時間 (連続動作時) は、お使いの記録メディアにより記載された値から変動することがあります。
- ヘッドホンを接続した状態で使用すると、電池の寿命が短くなります。

microSD カードの録音時間

microSD カード容量別の録音時間を以下の表に示します。

録音形式		カード容量	
		8GB	32GB
WAV 16 ビット MONO (モノラル)	44.1kHz	25 時間 10 分	100 時間 46 分
	48kHz	23 時間 08 分	92 時間 34 分
WAV 24 ビット MONO (モノラル)	44.1kHz	16 時間 46 分	67 時間 10 分
	48kHz	15 時間 24 分	61 時間 42 分
WAV 32-bit float MONO (モノラル)	44.1kHz	12 時間 34 分	50 時間 22 分
	48kHz	11 時間 34 分	46 時間 16 分

- 上記録音時間は目安です。ご使用の microSD カードにより異なる場合があります。
- 上記録音時間は連続録音時間ではなく、microSD カードに可能な録音合計時間です。
- POLY (ステレオ) 録音の場合は、上記録音時間の約半分の時間となります。

日時情報保存用

リチウム二次電池×1 (内蔵)

寸法

53 x 50.7 x 21.4 mm (幅 x 高さ x 奥行き、突起部含まず)

質量

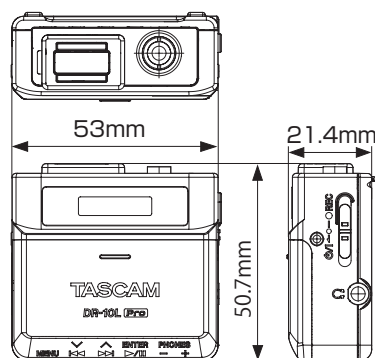
65g / 43g (電池を含む / 電池を含まず)

動作温度

0 ~ 40℃

- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

16-5. 寸法図



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP 電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP 電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。